

(事例23) 54歳男性、溶接・研磨作業、慢性腎不全のため長時間残業禁止

類型	症候	疾患
1	9. 腎機能低下、片腎摘出後	6. 慢性腎不全

きっかけ	<input checked="" type="checkbox"/> 健康診断の有所見	<input type="checkbox"/> その他の機会
1. 対象者のプロフィール 1) 年齢、既往歴 54歳 男性、27歳の時片腎摘出 2) 業種、作業内容 溶接、研磨作業		
2. 就業制限・配慮の対象となった疾病、健診値異常 例) 高血圧、HbA1c 高値、腰痛など慢性腎不全		
3. 就業制限・配慮の内容 例) 高所作業禁止、出張禁止、残業禁止、配置転換、治具導入など 要就業制限 重労働および長時間残業を避けること。また適宜の休憩や水分摂取を。		
4. 事例の詳細 (背景、経緯、特に考慮した事情など) 健診にて以前より腎機能低下傾向あり、面談にて作業状況等確認。身体負荷軽減必要と考え、上記措置とした。その後も随時フォローアップ面談を行っている。腎機能は低下傾向が続いている。		
5. 就業制限・配慮の主な目的 (複数回答可) ① 業務が当該労働者の健康、安全、疾病経過、予後に影響を与える可能性があったため		
6. 就業制限を実施するにあたって注意した事、阻害要因、問題点などあれば教えて下さい 作業場所はほぼ一定しており、社内の中では比較的負荷の少ない現場と判断した。		